

令和元年度第1回鳥取県パートナー県政推進会議の開催結果について

令和元年11月
新時代創造課

本年度の第1回鳥取県パートナー県政推進会議を開催し、様々な分野でご活躍されている県民の方々と、県政に関する意見交換を実施しました。

1 開催状況

日時 令和元年10月26日(土) 午前10時から正午まで
場所 ホテルモナーク鳥取 2階 仁風の間
出席者 委員13名、知事、令和新時代創造本部長ほか

2 主な意見等

関連テーマ	意見の概要
若者の県内定住	<ul style="list-style-type: none"> 県内で若者が活躍できる場所や、交流の場が増えてきたと感じるが、なかなか県民や若者に浸透していない。また、企業の情報や鳥取の魅力に気づいていない若者が多い。働く場所や鳥取県の魅力等を、もっと学校教育の段階で、見学や体験する機会を増やしていくことがよいと思う。 移住者は、経済的なことと、文化や人間関係などの暮らしやすさを比べていると感じている。暮らしの情報などを、移住者により伝える必要がある。 とっとり暮らしアドバイザーや移住の窓口になる人が、できるだけ情報を共有することで、最初から移住を検討している人だけでなく、もっと軽い感覚で相談されている人の中から、鳥取に移住してくれる人が増えるのではないかと考える。
子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 男性の育児参加の促進として、例えば小学校に入学するまでの間に、育児休暇を1ヶ月以上は取りましようとか、それぐらい強制的なことがあってもいいと考える。 育児においては、様々な子育て支援サービスがあり、必要に応じてもっと活用すればよいと思う。また、それらを使っても良いとする環境づくりも、これからは必要ではないかと考える。
持続可能なふるさとづくり	<ul style="list-style-type: none"> 今後コンピューターが実生活で普及していくことを踏まえ、田舎でのドローンの活用など、日本の将来を実験するといった検証的な視点も含めて、ICTなどの利用を進めていけたらいいと思う。 総合型地域スポーツクラブは、いろんな側面からスポーツやアクティビティのチカラを使って、地域課題を解決していく可能性がたくさんあると考える。
誰もが活躍できる社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 行政が、いろんな人の多様な交流をしている地域の情報を収集し、その情報を知ってもらえるよう広報すれば、地域の活性化につながっていくと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少化においては、鳥取県の将来に対する短期、中期、長期的なビジョンを県が示し、それを県民と共有するとともに、ビジョンに向けた取組を情報発信することが大切と考える。 誰もが農業で食べていける時代では無くなってきている。プレイヤーより、マネージャーや農業経営者を育成していく視点も、必要になってくるのではないかと考える。 鳥取県の方は、商売が下手な人が多い気がする。ビジネススキルを、ゲーム感覚でも良いので、小中学生から学んでいく機会を増やしてはどうか。

3 今後の予定

会議でいただいた意見や提案について、県の対応状況を把握するとともに、今冬開催予定の第2回会議において議論を深め、県施策等への反映を検討していく。

